

飯伊 産業経済動向

No.459 2017/6
(29. 7. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,757	枚	△	12.8 %	△	4.5 %
	金額	5,119,941	千円	△	3.5 %		6.3 %
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 0 枚)	
	金額	0	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 0 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	9	件	(前月 9 件)		(前年同月 0 件)	
	飯伊	0	件	(前月 0 件)		(前年同月 2 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(5月)		52	戸		62.5 %		15.6 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(5月)		1.43	倍	(前月 1.46 倍)		(前年同月 1.27 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,524	台		30.9 %		1.6 %
	中古車	669	台		18.8 %	△	13.1 %
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会)(5月)	新車	3,601	台		5.4 %		23.6 %
	中古車	1,161	台	△	30.8 %		10.2 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	112,992	台	△	5.8 %		2.1 %
	出	112,622	台	△	5.9 %		2.6 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	76,466	台	△	3.8 %		4.8 %
	出	75,156	台	△	2.8 %		4.0 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	10,319	台	△	51.8 %		7.0 %
	出	10,642	台	△	56.6 %		8.3 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	37,777	台	△	19.9 %		1.3 %
	出	37,891	台	△	20.9 %		2.7 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		160	件		31.1 %		1.3 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		3	件	(前月 8 件)		(前年同月 7 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	23,964	人	△	16.2 %		6.1 %
	飯田～名古屋	15,883	人	△	12.9 %		6.9 %
	飯田～長野	9,907	人	△	6.3 %		0.1 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,601	人		8.5 %		4.0 %
	右回り	3,708	人		11.3 %		11.5 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当相談所が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに進めています。



再生紙を
使用しています

概 況

製造業

6月の製造業の業況判断指数(DI)は、プラス21.4で、前月から2.6ポイント上昇。翌月予測もプラス25.8で、前月から16.4ポイント上昇している。

電気、精密機械器具部品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。受注は、前月比、前年比とも増加との声が多い。半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売は、前月比横ばい～やや増加。産業機器や医療機器等部品の受注の前月比は、減少との声も複数聞かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。景況感が好転した業者も複数。建築用金属製品の売上は、前月比増加も、前年比は減少との声が寄せられた。自動車向け部品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。前年比は増加との声が多い。小型電磁機器の販売の前月比は、概ね横ばい。一部に前年比はやや減少との声もあるが、こうした業者でも景況感の悪化には至っていない。FA関連モーターの受注、販売は、前月比、前年比とも増加、「産業機械向け、車載向けともに増加で推移」との声が聞かれ、景況感も好転している。光学機器の受注、販売は、前月比概ね横ばい、前年比は業者により増減分かれるが、景況感が好転した業者は見られない。電気、電子製品では、受注、販売とも前月比増加、景況感も好転との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比概ね横ばい。複数の業者から前年比はやや増加との声が聞かれた。水引製品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。しかし、増加したとの業者からも「入荷のズレによる売上増加。概ね静かな業況」などの声が寄せられ、景況感が好転した業者は見られない。漬物の販売は、前月比減少、前年比もやや減少、「ここ数か月、浅漬けの動きは良くないと感じている」との声が寄せられた。

建設業

6月の建設業の景況DIは、マイナス6.3で、前月から13.0ポイント下降。翌月予測DIは、マイナス6.3で、前月より12.5ポイント上昇している。

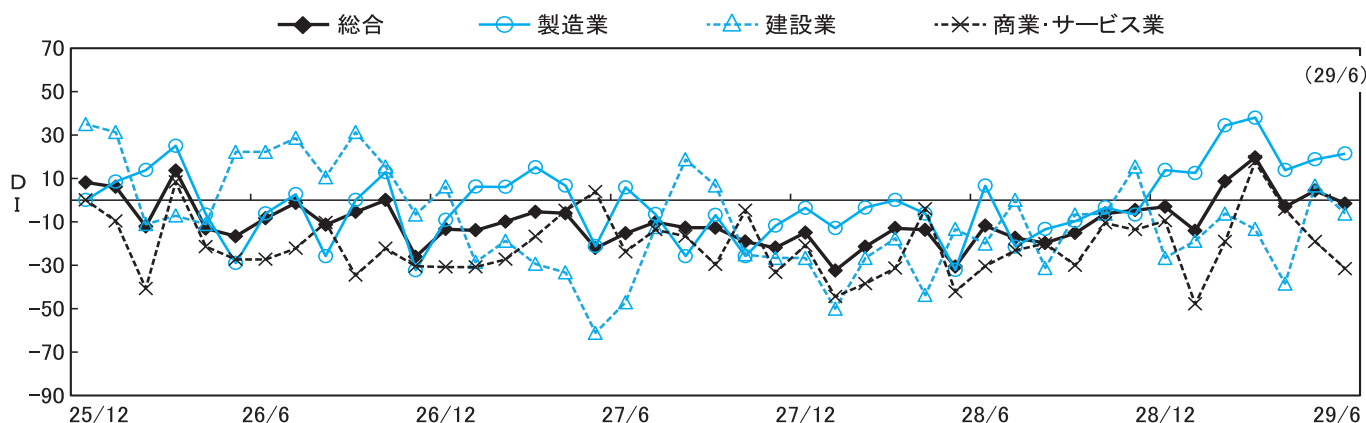
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約10.0億円で、前月比は36%減少、前年比も51%減少している(6月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、横ばいとの声が多い。「測量業務は仕事量がかかなりあるが、公共工事の件数、事業費は今のところ非常に少ない状況」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者は見られない。

民需の住宅着工戸数(5月)の住宅着工戸数は52戸。前月比63%増加、前年比も16%増加している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい～増加も、景況感が好転した業者は見られない。「住宅やりフォームなどの建築は結構動いている様子」も、「一般民間工事は十分とは言えない」などの声が聞かれた。

商業・サービス業

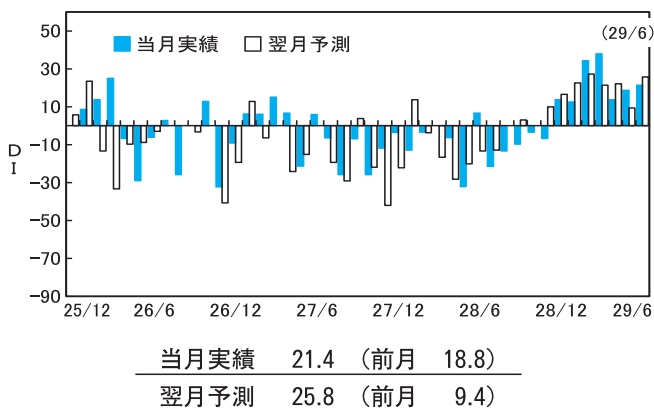
6月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス31.6と、前月より12.6ポイント下降。翌月予測DIは、マイナス5.3で、前月より4.7ポイント上昇している。食料品の売上の前月比は、業者により増減分かれるが、景況感の好転には至らない。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声。家事用品卸の売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加との声が寄せられた。電化製品の売上は、前月比業者により増減分かれる。前年比はやや増加。衣料品の売上は、前月比増加も、前年比はやや減少、景況感も悪化との声が寄せられた。娯楽用品では、「前月比、前年比とも若干のダウン」との声。土産物関連の売上は、前月比やや減少。一部に前年比もやや減少との声。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比31%増加、前年比も2%増加。5月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比5%増加、前年比も24%増加。自動車販売、整備の売上は、前月比減少、景況感も悪化との声が寄せられた。市内料理店の売上の前月比は、やや減少との声が多い。前年比は業者により増減分かれる。昼神温泉の売上は、「先月よりは下がったが、これまでの累計はやや増えている」などの声が寄せられた。タクシーの売上は、前月比、前年比ともやや減少との声が寄せられた。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



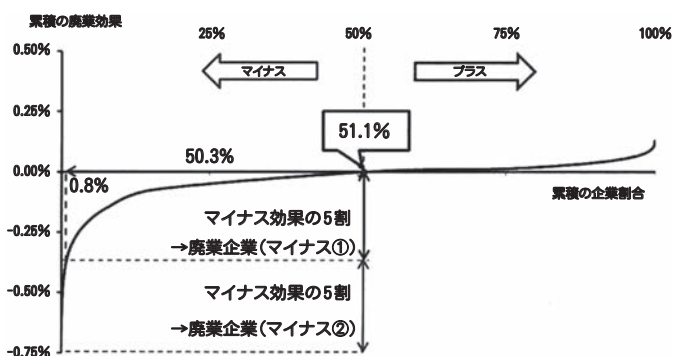
当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス21.4で、前月から2.6ポイント上昇。翌月予測もプラス25.8で、前月から16.4ポイント上昇している。

2017年版「中小企業白書」が4月21日閣議決定され、公表された。

第1部では、最近の中小企業の動向についての分析に加え、中小企業のライフサイクルと生産性及び中小企業の雇用環境と人手不足の現状について分析している。また、第2部では、第1部の分析結果を踏まえた上で、中小企業のライフサイクルとそれを支える人材に着目し、起業・創業、事業の承継、新事業展開による成長及び人材確保の取組について分析している。

例えば「廃業」について見ると、廃業企業の生産性が業種の平均よりも低ければ、廃業による中小企業全体の生産性への効果（廃業効果）はプラスとなるが、逆に平均よりも高い場合、マイナスとなる。白書によれば、約51.1%の企業の廃業によってマイナスの廃業効果が生じ、その内、約0.8%の企業の廃業がマイナス効果の5割をもたらしており、50.3%の企業の廃業がマイナス効果の残りの5割をもたらすという。

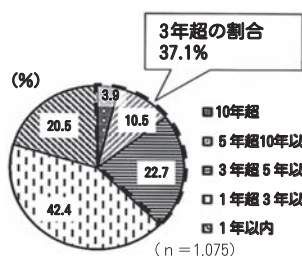
図1 廃業企業の分布（2009-2013年）



こうした廃業によるマイナス効果の大きい企業は、存続企業と比べて、従業員数及び売上高は小さいが、利益率は高い特徴があるという。他方で、後継者決定率が相対的に低く、こうした企業の後継者不足による廃業を減らすことが重要としている。

ところで、事業を承継するにあたり、後継者を選定

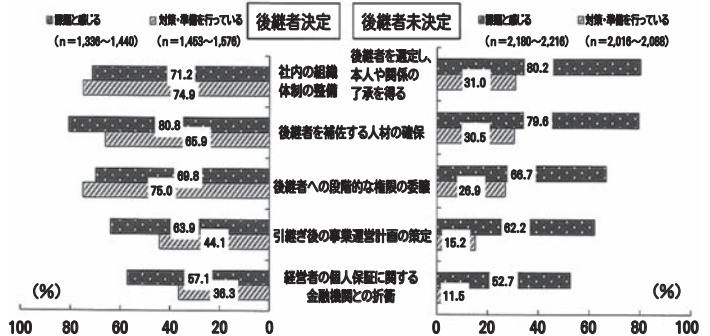
図2 後継者の選定を始めてから了承を得るまでに掛かった時間



するだけでも選定を始めてから了承を得るまで、おおむね3年程度かかる企業が過半数を占め、5年超を要した企業も14.4%あるという。

後継者の了承を得ても、ノウハウの継承等の後継者教育や経営者を補佐する人材の育成、社内体制の整備、事業運営計画の策定といった承継に伴う様々な課題に対策を施していくために、早期に後継者の選定を始め、経営の引継ぎの準備に入ることが望ましいとしている。

図3 経営の引継ぎに関する課題と対策・準備状況（後継者決定・未決定）



中小企業庁は、中小企業経営者の高齢化の進展等を踏まえ、地域の事業を次世代に引き継ぐとともに、事業承継を契機に後継者がベンチャー型事業承継などの経営革新等に積極的にチャレンジし易い環境を整備すべく、今後5年程度を事業承継支援の集中実施期間とする「事業承継5ヶ年計画」を策定した。（図表は全て「2017年版 中小企業白書」）

機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売の前月比は、業者により増減分かれる。受注は、前月比、前年比とも増加との声が多い。「高い水準で好景気が続いている。去年に比べ大幅に増加」「全体的にどこも忙しいように思う。当分続く気配がある」などの声が聞かれたほか、先行き上向きとの見方も。原材料、資材価格がやや上昇との報が寄せられた。こうした中、「人員不足。先行きもこうした状態が続く」「人員不足が常態化。派遣等の求人活動をする」など雇用面の不足感を指摘する声は多い。設備面でも、「予定有り」「機械の入れ替えなどを検討している」といった積極的な声が多く聞かれた。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売は、前月比横ばい～やや増加。前年比は増加。「高止まり」「半導体業界需要増継続」「スマホ、車載向け増産継続」「データセンター（サーバー）向け増産継続」「FPD関連良好」「先月積み残し分と増産により売上も増加」などの声が聞かれたほか、「引き続きオーバーワーク気味の受注量で、仕掛在庫が上昇傾向にある」との声も寄せられた。こうした中、雇用面でも不足感は強い様子で、「若干不足。複数名補充したい」「中途社員、パート数名」などの声。また、設備面でも「機械導入済み。冬頃さらに予定」「複数台新設。今後も複数導入予定」など積極的な声が多い。原材料、資材価格に関し、当月大きな動きはなかった様子も、「アルミ材の上昇基調は変わらない」という。

産業機器や医療機器等部品の受注の前月比は、減少との声も複数聞かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。減少したとする業者の中には、「指値で受注できなかった。エンドユーザーの動きが慎重だと感じる」「見積案件も減少している」など当月の景況感が悪化した業者も見受けられたが、こうした業者でも「年末からの案件があり期待」との声が聞かれたほか、「今

月分が一時的にストップ。その分売上も減少したが、次月以降の納期分は動いている」ことや、前年比が増加していることもあって景況感の悪化には至っていない業者が多い。その他、「繰り越し受注残が毎月増加」「やっと生産に活気が出てきた」「ロボット関連が忙しい。全般に忙しそうだ」「ロボット関連活発」などの声が寄せられ、景況感が好転した業者も複数見られた。先行きは、横ばい～増加が見込まれている。

雇用面では、現状維持との声が多いが、「1名増員。今後も予定」「やや増員」「1名採用。今後も入社予定」「開発、生産技術人材を採用したい」など積極的な声も複数ある。設備面でも現状維持との声が多いが、「導入予定」「検討中」「やや増強」「古い設備の入れ替え、生産の仕組み変更のための設備を予定」「生産能力増強中」などの声も寄せられた。「アルミ材」など原材料、資材価格がやや上昇しているとの報が複数寄せられた。

建築用金属製品の売上は、前月比増加も、前年比は減少、「この業界は秋口までは例年低迷。我慢の状態が続きそう」との声が寄せられた。「地震対策関係の需要が期待できそう」との声も。原材料、資材価格に関し、「全体的に上昇傾向にある」という。雇用面、設備面で積極的な声。

自動車向け部品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。前年比は増加との声が多い。「生産数量が増えていることもあるが、有償材料の値上げ分が転嫁されていて売上は増加」などの声。雇用面で、「来年度の新卒高校生の求人のために学校訪問を行っている。地区内の大手企業に集まる傾向があるように思う」との声が聞かれた。

小型電磁機器の販売の前月比は概ね横ばい。一部に前年比はやや減少との声もあるが、こうした業者でも景況感の悪化には至っていない。一部に先行き弱含みとの見方がある。雇用面では概ね現状維持の様子。一部に設備面で積極的な声も聞かれた。

FA関連モーターの受注、販売は、前月比、前年比とも増加、「産業機械向け、車載向けともに増加で推移」との声が聞かれ、景況感も好転している。先行きもこうした基調が続く見込みという。

光学機器の受注、販売は、前月比概ね横ばい、前年比は業者により増減分かれるが、景況感が好転した業者は見られない。一部に、先行き弱含みとの声も。原材料、資材価格が上昇傾向にあるとの声は多い。雇用面で、「現状非常に厳しい」「目下は現状維持も、先行きは不足」など不足感を指摘する声が多い。一部に設備面で積極的な声も聞かれた。

電気、電子製品では、受注、販売とも前月比増加、景況感も好転との声が寄せられた。「健康管理システムは、従来高齢者向けだったが、最近は子供向けの話が多くなっている」という。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比概ね横ばい、複数の業者から、前年比はやや増加との声も聞かれた。「量販店向けが良かった」「夏の観光需要に期待」などの声が寄せられたが、景況感が好転した業者は見られない。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子も、「運賃値上げの話が出ている」との声。雇用面では概ね現状維持も、一部に不足感を指摘する声も聞かれ、こうした業者では「秋以降に手当てする予定」という。設備面でも、一部に「実施中」との声もあるが、概ね現状維持の様子。

水引製品の販売の前月比は、業者により増減分かれる。しかし、増加したとする業者からも「入荷のズレによる売上増加。概ね静かな業況」などの声が寄せられ、景況感が好転した業者は見られない。複数の業者から前年比はやや増加との声も聞かれたが、「大手量販店の再編、淘汰の影響は大きい。製造業者にとって

も生き残りがかかる」という。この時期多くの業者で製品在庫が増加している。また一部に原材料価格上昇との声。「銀座NAGANOや商工会議所のヨーロッパでの水引出展など遠方へのPRの話題が多い。少しでも商売に繋がってくれることを期待している」「新製品の見本づくりや見積もりといった種まきをしてきた。現状大勢に影響するほどではないが、地道に進めている。開拓できる新市場があると思っている」などの声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比減少、前年比もやや減少、「ここ数か月、浅漬けの動きは良くないと感じている」との声が寄せられた。「配送費が上昇し始めた。地方のメーカーにとっては痛い」という。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比やや減少、先行きも弱含みとの声が寄せられた。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

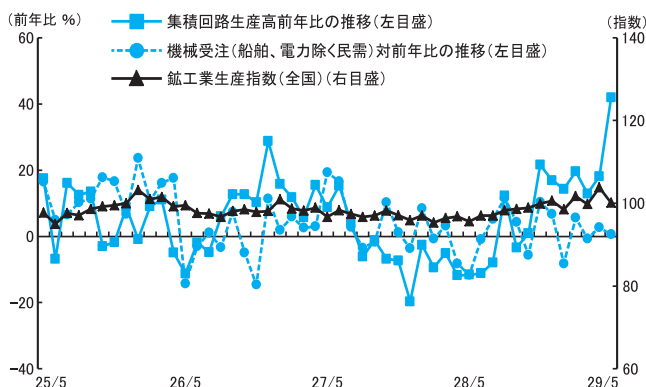
印刷、出版関連の売上は、前月比やや増加も、前年比はやや減少との声も寄せられた。製品価格が低下している様子だが、その背景に「官庁、民間ともに印刷物の内製化が進んでいる」「数量を多く発注して単価を下げる」といった考え方から、必要な数を必要ときに、更に価格も安くという方向に進んでいるように感じる」といった事情があるとの声も寄せられた。雇用面で「不足感はないが、先々を考えて職種によって求人中」との声。「年金基金解散に伴う支払いが近々始まりそう」との報が寄せられた。

衣料品の販売は、前月比、前年比ともやや増加、先行きも生産の増加を見込んでいるとの声も寄せられた。「夏物は、販売時期がずれてきた影響で、追加企画による投入が入るようになってきている」「従来の単価の低い商材から、少し価格の高い、エレガンス系の商材も増えてきている」などの声も寄せられた。また、「SNSも含め、ネット販売が売上を伸ばしている。一方、百貨店販売の不振の影響は大きいと思われる」という。原材料、資材価格や販売価格に当月大きな動きはなかった様子。雇用面の不足感が依然続いているという。

【企業からのコメント】

- ★国内の販売が頭打ちとなる中、海外進出がカギになりそう。
- ★常に新しい商品を求められる時代、新市場を上げようとする意識が重要だと思う。
- ★時代が変わった。残業をしなくなった。
- ★材料屋さんからは動きが低下しているとの声も聞かれる。
- ★業種によりムラが多いように感じる。
- ★人よりもロボット化で対応する時代になってきたように思う。

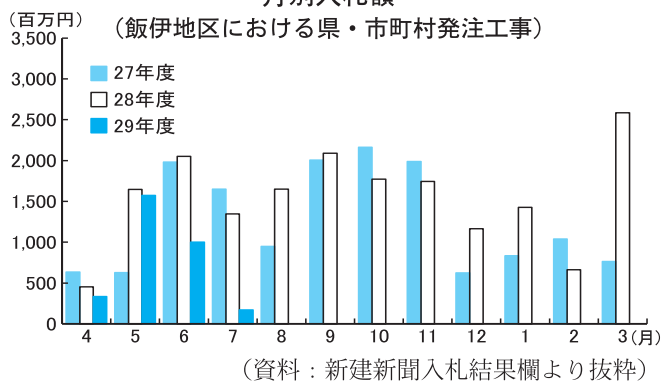
集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



建設業

月別入札額

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -6.3 (先月 6.7)

翌月予測DI -6.3 (先月 -18.8)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約10.0億円で、前月比は36%減少、前年比も51%減少している(6月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、増減分かれるが、横ばいとの声が多い。「弊社の場合、昨年とは打って変わって受注があった」「当社は繰り越し工事がある」などの声も聞かれたものの、こうした業者でも「工事件数、金額ともに少ない状況に変わりはない。第1四半期は例年より厳しいことになった」「繰り越しもお盆前には完了する。例年になく公共事業の発注が少ない。リニアの動きも悪い」などの声が聞かれたほか、「測量業務は仕事量がかかなりあるが、公共工事の件数、事業費は今のところ非常に少ない状況」「小規模工事の受注で1~2か月間。8月以降の発注に期待」「官庁発注工事が少なく、地元の土木B、C、Dランクの業者はかなり疲弊している様子。リニア関連工事も単価が合わず、敬遠気味の会社が多いという」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者は見られない。

こうした中、「多能工の施工業者は工事量も確保できている様子」など、「同業者間で受注格差が広がっている」との声が聞かれ、「仕事がない業者は、忙しい都市部に流出している」という。

雇用面では、「施工職員募集中」「技術者募集中」「業務量はあるが技術者不足」「短期的には過剰も、長期的には技術者、労務者不足」などの声が寄せられたほか、「忙しくない割には人材不足。業者によっては仕事の良し悪しを吟味するようになり、労務単価がやや上昇している感がある。工事単価もそれに合わせて上昇しつつあるように思う」などの声が寄せられた。

民需

当地区の5月の住宅着工戸数は52戸。前月比63%増加、前年比も16%増加している。

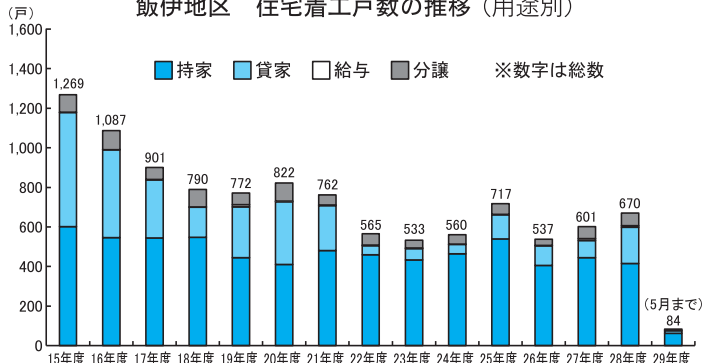
当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい~増加も、景況感が好転した業者は見られない。「住宅やリフォームなどの建築は結構動いている様子」「新築住宅とリフォームはポツポツあるものの、受注残高は相対的に少なく、完成工事も小さい」「リフォーム工事のみ」などの声のほか、「民間は大型工事が少なく、忙しくない」「一般民間工事は十分とは言えない」などの声が聞かれた。

「不動産は、中古住宅の動きが良いほか、土地でもディスカウント住宅向けが早く動いている感がある。ということは、デフレは改善されないということか」との声が寄せられた。

平成28年度の住宅着工戸数は670戸で、平成27年度

に比べ12%増加した。これを用途別に見ると、持家は415戸で前年度に比べ7%減少したものの、貸家が183戸で前年度に比べ108%増加していた。その他給与は8戸(平成27年度9戸)、分譲は64戸(平成27年度60戸)となっていた。

飯伊地区 住宅着工戸数の推移(用途別)



(資料：長野県住宅部)

建設資材

建設資材の売上は、前月比やや減少も、前年比はやや増加、景況感の好転には至らないとの声が聞かれた。雇用面で「一名募集」との声も。

鋼材の売上は、前月比、前年比とも増加も、「前半はそれなりの動きだったが、後半低下。目立つ変化はなく、相変わらず低調」「東京以外の地方は実際の動きが見られず、苦しい状況が続く」など景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。「流通量の低下は相変わらず。回復の動きは見られない」中、「一般鋼材はメーカー売出値への転嫁が遅れている」という。

生コンの売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。景況感の悪化には至らないまでも、「まったく工事受注がなく厳しい状況。業界全体が冷え込んでいる」「先行き不安との声は多い」「大型工事は少ない。前月に比べると減少したが、前年比は増加。主な出荷先は三遠南信自動車道、砂防工事、老人福祉施設建設工事に関わるものだった。リニア関連の出荷は増加」などの声が寄せられた。

骨材等の売上の前月比は、業者により増減分かれる。前年比はやや増加。「前月よりは減少。生コン向けの砂利、砂の出荷が減った」「比較すれば増収となったが、そんな感覚のないのんびりとした月。こんな状態が続いても困る」「国、県、市町村の発注が少なく、どうなるか危惧している。そうした中、三遠南信自動車道の先行した物件の動きが始まったほか、トンネル工事などで納品が始まっていて、砂漠の中のオアシスといった感。これからに期待」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

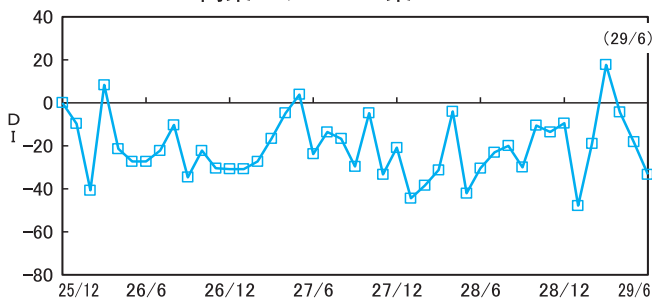
- ★リース業者などの当地区への新規出店があり、値崩れが始まっている様子。
- ★大型物件が減少する中、コンパクトな経営で時代に合わせる。小規模工事でも利益は確保したい。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

6月	○下伊那地方事務所
	新築 25件 (前年 13件)
	増築 4件 (前年 6件)
	○飯田市役所分
	新築 21件 (前年 24件)
	増築 4件 (前年 0件)
	※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI	-31.6	(先月 -19.0)
翌月予測DI	-5.3	(先月 -10.0)

商業

食品の売上の前月比は、業者により増減分かれるが、景況感の好転には至らない。前年比は減少との声が複数。「5、6月は納税が多く、消費にける金額が減少しているのでは」「児童数減少や予算の関係か、給食食材、老人ホーム納入食材の金額が減少傾向にある」などの声が寄せられた。「雨不足か野菜類の仕入れ値上昇」などの声が寄せられ、これに伴い多くの業者で販売価格も上昇している。一部の業者から「若手人員増強」との声も。

【青果卸売市場】

売上は、前月比、前年比ともやや減少という。野菜は、「小雨傾向だったが、入荷量はほぼ前年並み。価格は、一部の野菜に高値のものもあったが、全体では前年並み」との声。果実は、「国産果実の桃とプラムは生育の遅れと小雨により出荷が遅れ、大幅入荷減。その分、晩橘類の売れ行きが良く、全体では入荷量4%増の価格は5%安」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声。

家事用品卸の売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加との声が寄せられた。「紙類の値上げ発表から半年経つが、あまり目立たなくなった」「火花などの売れ行きがまだまだ。夏物はもう少し暑くならないとダメ」などの声が寄せられた。

電化製品の売上は、前月比業者により増減分かれる。前年比はやや増加。時節柄、家庭用エアコンに関する声は多く、「話はある」「昨年よりも台数が減っている。家電店でも電気工事得意とする店は伸びているが、販売のみの店は厳しい」などの声。その他、「工場関係の設備投資があり、LED、パソコンの入替や空調のリニューアル等が好調。補助金に関する動きもある様子」などの声が寄せられた。

衣料品の売上は、前月比増加も、前年比はやや減少、景況感悪化との声が寄せられた。「立地上、隣接道路通行止めの影響は相変わらず大きい」などの声。仕入価格が上昇しており、それに伴い販売価格も上昇しているという。一部に雇用面、設備面で積極的な声が寄せられた。

娯楽用品では、「前月比、前年比とも若干のダウン」との声。先行きはやや増加を見込んでいるという。仕入価格や販売価格に大きな動きはなかった様子。

土産物関連の売上は、前月比やや減少。一部に前年比もやや減少との声。「当店が立地している道路沿線は、当月は暇な時期」などの声が寄せられた。雇用面で、「当月1名。今後も予定」「今後足りなくなる」な

どの声が寄せられた。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比31%増加、前年比も2%増加。中古車は、前月比19%増加も、前年比は13%減少した。5月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比5%増加、前年比も24%増加。中古車は、前月比31%減少も、前年比は10%増加した。

自動車販売、整備の売上は、前月比減少、景況感悪化との声が寄せられた。前月に比べ仕入単価が下降したというが、これに関し「中古車が玉不足。特に高年式、良質車」との声が寄せられた。「整備士は新規採用、中途採用共に厳しい。現有の人材を大事にしたい」などの声が聞かれた。

サービス業

市内料理店の売上の前月比は、やや減少との声が多い。前年比は業者により増減分かれる。景況感悪化には至らないものの、「梅雨の時期を迎え、例年通りの推移」「当店の場合、法事、慶事で個人のご利用が多いが、会社関係の宴会の減少が、これらの伸びを上回っている感がある。政府などの発表する景況感と差があると感じている」「前年より若干良かったとはいえ、景気が良くなった感はない」「飲み放題メニューの問い合わせが多い」などの声が寄せられた。仕入価格に関し、やや上昇との声が寄せられたが、生鮮品などでは「景況感悪化のせい、やや下がっている」との声も聞かれた。

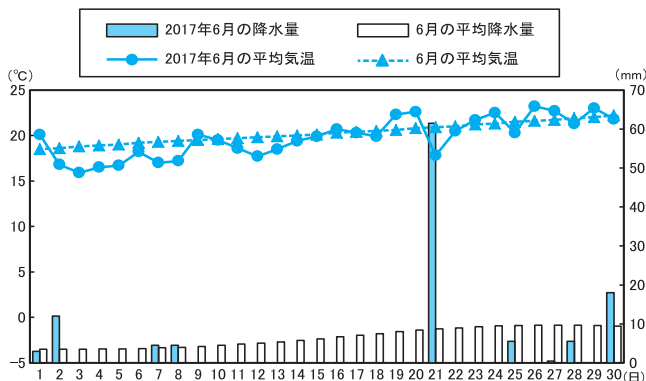
昼神温泉の売上は、「先月よりは下がったが、これまでの累計はやや増えている」などの声が寄せられた。「7月からナイトツアーが始まるが、説明、案内業務にやはり手間がかかる」一方で、雇用面の不足感は続いている様子で、「夏休み、盆休みに向け手が足らなくなるのは例年のことだが、募集しても応募がない」との声が聞かれた。

タクシーの売上は、前月比、前年比ともやや減少との声が寄せられた。「依然、夜間需要に上向き感を感じられない」「乗務員の労働環境を実態に合った形に変更するなどの改革が必要」「タクシー部門の減少を何らかの形で補う事業も取り組む必要がある」「行政と共に消費者の利便性を高めるような施策を検討する必要がある」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★フランチャイザーの経営統合があったが、今後がつかめない。
- ★今月男女1名ずつ採用できて良かった。パートでは集まりにくいですが、本採用であれば何とかかなり思う。
- ★次の展開のための熟考の時と考えている。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目（18） カリスマ型経営者

飯田信用金庫 地域サポート部
専門アドバイザー 小泉 敏郎

当たり前のことを言うようだが、世の中にはいろいろな会社がある。

ある中小企業の専務と面談した時の話だが、常に社長がコウ言っているとかアア言っているとか言うばかりで自分の意見がない、こちらが何を質問しても、何を聞いてもまったく要領を得ない。良く分かりません、その件は社長に確認しないと、といった返事ばかりである。早い話が何も知らない上に、何も考えることをせず結論が出せないのである。要するに信頼されておらず、権限もなく何も任されていないのだ。社長から言われたことをただ黙々とやっているだけである。30人程の会社で専務取締役と大層な肩書きが付いているが、単に社長の弟というだけのことである。

この会社ではすべてのことを社長が一人で決めて、部下に指示を出している。専務以下の社員は皆社長の指示に基づいて作業をしているだけのことで、文鎮構造とでも言おうか、お互いに意見交換をする会議というものがない。社長の指示と部下からの報告があるのみである。確かにこれだけの所帯を抱え、社長一人で決断をし、すべての人間に対し指示をしていることは素晴らしい、スーパーマンともいえる。でもそれで本当に良いのだろうか？今は良いのかも知れないが、将来社長がいなくなったらどうなるのか、後継者はどうするのか、考えただけでも空恐ろしい。

昔、ある工作機械メーカーがあった。多くの特許を持ち、その業界では世界的にも非常に有名な企業であった。その社長の持論は、社長が一人で掌握、管理できるのは部下50人迄ということで、社員は50人より増やさず、企画、営業、技術、調達、品質管理、メンテサービスを50人の技術者に任せ、製造工場も持たず生産はすべて他社に依存していた。当時は開発技術が先行し特許を次々と取得して飛ぶ鳥を落とす勢いの企業であったが、時代と共に競合他社も何とか特許を回避しながら徐々にその企業に台頭し肉薄してきて、段々とシェアを落すようになってしまった。

世の中に新しい市場を創り、先行して切り開いていく開発技術的苦労に比べて、後追いの技術的苦労はまったく別の苦労であり、競合他社はどんどん特許を回避し技術的、性能的にも近づいてくるものである。一般的に技術の進歩の過程を見ると、ある段階から大きな進歩が非常に難しくなる時点があるが、それ故に先行メーカーの開発スピードが減速し、技術の進歩が緩くなった時点で後発メーカーが急速に追い付いてくるものなのだ。後発が近づいてくると、企業間の格差、優位性を保つには、開発パワー、生産性や生産能力、品質管理、性能といった、技術以外の視点も重要になり、会社経営の根幹である人的要素、人事管理能力、物量能力の問題にも繋がってくる。協力会社に生産を依存してはいるものの50人しか社員がいないこの会社の場合も、思うように生産能力を上げることができず、後発メーカー数社にシェアを取られ、いつの間にか売り上げが逆転してしまったというわけなのだ。

技術革新がどんどん進んでいる上昇時は、50人精鋭技術会社を率いるカリスマ社長は素晴らしい経営者（工場を持たない製造業）と世間でも大きく話題に取り上げられていた。しかし減速状態に直面したとき、生産能力を維持しながら会社を運営するには、開発技術会社を牽引するのとまったく別の経営能力、手腕が必要ではなからうか。

カリスマ社長一人で率いるのでなく、シッカリ構築された組織運営が必要不可欠である。一代で築き上げたカリスマ社長は能力的に素晴らしいが、大きな会社になってくるとそれを維持し、更に拡大していくには人的統率能力、組織運営能力と新たな必要条件が出てくる。

会社の寿命は30年という本が数十年前に流行った記憶がある、しかし世の中には100年以上続いている優良企業も沢山存在する。会社には誕生してから上昇期、安定期、衰退期と山あり谷あり、いろいろな状態がある。規模

も数人から数十人、数百人、更にそれ以上とあるが、その時期、また人数によっても会社の運営方法は大きく違ってくる。

社長一人で頑張れる時期、数人の部下と率先垂範していく時期、強い組織が必要な時期と、それぞれの時期において経営能力、手法は違っていくはずだ。

一般にカリスマ型経営者とは社員や関係者が自分の会社の社長を教祖のように崇拜している社長のことを指して言われる。カリスマ型経営者の特徴として、強いリーダーシップ、統率牽引力、スピード感等素晴らしい要素が多々あるが、反面自分が天才肌であるが故に弱者の悩みが良く分からない部分もある。部下の育成に関しては必ずしも得意とは言えないのでは。

しかしながら、後継者を育成していない会社には持続的成長はまず困難であろう。

カリスマ社長の率いる会社の一つのパターンに、一代で急成長、二代目で業績悪化に陥り、三代目で倒産の危機を迎えるというのがある。

当然のことだがカリスマ型経営者に対し賛否両論あるわけだが、己の分析を怠らず部下ともコミュニケーションを持ちながら是非後継者育成にも力を入れて頂きたい。

そして良き後継者が見つかり、バトンタッチできたなら院政など敷かず潔く身を引くのが、会社の為、後継者の為、自分自身の為にも一番良い方法ではないだろうか。

ではカリスマ社長から会社を受け継いだ二代目の社長はどうすれば良いのか？

普通に考えて我々常人には天才の真似などはできないし、仮にカリスマ社長の言動を真似してもまともな経営ができるわけがない。当たり前のことだが会社経営の本筋、基本に忠実な、真摯な経営なくして成長はありえない。

経営者の求心力は何と言っても会社の業績を伸ばすこと、つまり利益を出すことだ。

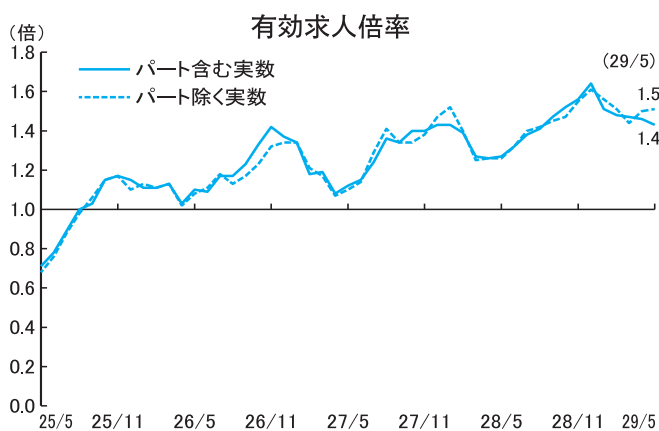
業績を伸ばしキチンと適正報酬を支払い、優秀な社員を育成することが最も大事だと思う。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

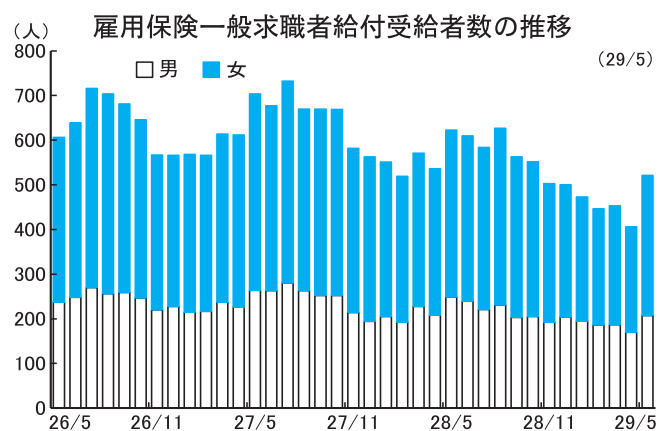
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



5月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.43倍と、前月から0.03ポイント下降。パートを除く実数は1.51倍で、前月から0.01ポイント上昇している。



5月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は37人増加、女性も78人増加しており、全体では521人と前月から115人増加している。

(資料：ハローワーク飯田)

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成23年	557	△ 5.3	322,932	△ 3.5	186,915	△ 1.6	118,624	△ 20.1
24	519	△ 6.8	328,149	1.6	186,582	△ 0.2	116,485	△ 1.8
25	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
平成28.4	37	△ 28.8	25,220	3.8	14,959	△ 0.4	9,956	△ 11.3
5	45	0.0	28,250	△ 2.8	16,930	△ 3.5	10,360	△ 27.6
6	64	39.1	22,591	△ 5.5	14,856	1.1	9,900	△ 5.0
7	58	9.4	26,517	4.2	17,613	9.2	9,975	△ 0.2
8	70	4.5	36,140	△ 5.2	22,181	5.5	10,273	△ 5.4
9	78	30.0	26,977	△ 4.0	17,418	0.3	9,385	△ 3.0
10	51	21.4	28,049	2.5	18,676	5.5	10,272	△ 5.2
11	50	△ 13.8	25,575	△ 2.4	17,622	0.3	9,285	△ 6.7
12	50	6.4	28,239	1.9	18,090	6.3	8,605	△ 3.2
平成29.1	56	51.4	26,478	4.3	17,070	4.2	8,568	△ 2.1
2	42	△ 2.3	22,454	△ 1.9	16,616	10.0	8,629	0.1
3	69	35.3	29,945	△ 1.2	19,682	3.9	10,190	△ 2.5
4	32	△ 13.5	24,732	△ 1.9	17,300	15.6	9,870	△ 0.9
5	52	15.6	28,602	1.2	18,241	7.7	10,568	2.0
6	—	—	23,964	6.1	15,883	6.9	9,907	0.1
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成23年	24,943	△ 17.1	6,983	△ 1.4	0.72	—
24	32,028	28.4	7,390	5.8	0.81	—
25	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—
平成28.4	1,991	△ 4.1	700	△ 8.6	1.37	1.43
5	2,105	7.5	586	△ 8.2	1.40	1.43
6	2,485	△ 9.1	770	6.5	1.40	1.39
7	2,080	△ 19.7	568	△ 23.7	1.41	1.33
8	1,697	△ 9.4	551	△ 1.4	1.43	1.37
9	2,565	△ 14.5	597	△ 4.3	1.46	1.33
10	2,172	△ 6.4	634	△ 6.4	1.49	1.35
11	2,074	△ 6.8	538	△ 7.2	1.51	1.40
12	2,082	△ 9.6	558	△ 10.9	1.57	1.53
平成29.1	2,012	△ 8.5	387	△ 11.2	1.49	1.80
2	2,441	4.6	542	△ 5.4	1.51	1.61
3	4,018	1.3	884	△ 4.1	1.48	1.64
4	1,878	△ 5.7	717	2.4	1.52	1.57
5	1,928	△ 8.4	563	△ 3.9	1.53	—
6	2,524	1.6	669	△ 13.1	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野県労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成23年	72,078	92,170,690	155	13	2,132	8.9
24	65,692	86,556,524	138	17	1,913	△ 10.3
25	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
平成28.4	3,360	3,588,321	7	1	132	9.1
5	4,493	5,008,672	5	0	138	8.7
6	3,934	4,815,045	6	2	158	△ 9.2
7	3,334	3,496,772	9	0	182	△ 5.2
8	4,456	5,177,038	8	1	149	△ 8.0
9	3,791	4,807,264	6	0	176	△ 17.8
10	3,779	3,762,544	7	1	147	△ 13.0
11	3,720	3,727,391	9	0	166	△ 16.1
12	3,973	4,701,810	5	1	206	△ 12.0
平成29.1	3,950	5,080,674	6	2	116	3.6
2	3,713	5,233,036	4	1	159	△ 1.2
3	4,109	5,024,211	8	2	266	△ 4.0
4	3,188	3,500,980	10	2	127	△ 3.8
5	4,310	5,306,503	9	0	122	△ 11.6
6	3,757	5,119,941	9	0	160	1.3
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成23年	2,917,737	△ 2.4	1,851,218	△ 0.7	372,191	△ 4.8	950,485	1.3
24	2,933,104	0.5	1,913,719	3.4	376,518	1.2	1,010,571	6.3
25	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
平成28.4	219,698	0.4	138,538	△ 2.6	38,704	9.0	84,158	△ 1.7
5	233,685	△ 6.0	149,561	△ 6.3	34,673	△ 25.7	88,828	△ 8.0
6	220,412	0.5	145,235	1.2	19,467	△ 24.6	74,196	△ 4.6
7	237,316	0.8	155,742	3.2	28,941	△ 18.9	87,501	0.1
8	257,508	△ 0.3	168,515	1.3	40,992	△ 18.5	112,045	1.0
9	229,323	△ 5.8	158,198	△ 2.2	28,382	△ 36.8	83,848	△ 14.5
10	247,170	△ 4.1	172,088	0.3	37,037	△ 26.3	97,816	△ 7.6
11	242,056	0.3	180,920	2.4	32,774	△ 5.8	94,113	△ 2.5
12	228,660	1.5	155,405	5.0	24,577	△ 11.1	77,284	△ 2.2
平成29.1	205,978	△ 0.5	130,174	3.2	27,023	△ 11.3	68,660	△ 3.7
2	191,670	△ 2.3	123,792	1.2	25,369	△ 15.0	64,582	△ 7.3
3	235,070	△ 0.6	149,971	2.2	27,553	△ 8.3	80,561	△ 1.5
4	222,552	1.3	145,101	4.7	35,626	△ 8.0	83,199	△ 1.1
5	239,594	2.5	156,788	4.8	45,911	32.4	95,068	7.0
6	225,614	2.4	151,622	4.4	20,961	7.7	75,668	2.0
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							